

北海道特別支援学級教育研究連盟南空知地区協議会

会長

薄葉 康 （三笠市立萱野中学校）

事務局長

加賀谷 哲（三笠市立萱野中学校）

●取組の概要について

○研究テーマ：「特別支援教育の望ましいあり方を求めて」

○活動内容：総会及び第1回役員会及び研修会（4月）、学習プリント・実践アイデア集の編集（7月）、会報「南空情報」の発行（年2回）、研究紀要の発刊

○会員の構成状況等：学校数（小）23校（中）17校（計）40校、担任数（小）36人（中）20人（計）56人、介助員・支援員数（小）28人（中）11人（計）39人

●研究会等の予定

- ・総会及び第1回研修会（4月中止、紙面総会）
- ・第1回研究推進役員会（5月中止、紙面総会） ※第2回2月予定
- ・令和3年度空特研総会及び研修会（5月中止、紙面総会）
- ・校長・担任合同研修会（7月中止）
- ・第31回空知特別支援教育研究大会南空知大会（9月中止）
- ・第69回北海道特別支援学級教育研究連盟全道大会 石狩・千歳大会（10月HPから情報発信）

～会長所感～

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために予定の事業が実施できない状況となっているのは大変遺憾です。ワクチンの普及によってコロナウイルスの状況は改善されていき、集合研修等も可能な状況になってくることと思いますが、また違った理由で同様の事態になることは十分に考えられます。

ICTの活用が本格化する中、本会としても、集合研修とほぼ同等の成果を挙げられるような別の開催方法も想定しながら、研修会や会議の企画を検討していく必要があると感じています。